

おがまち日奈久ニュース

「ひなぐ雛祭り」 コロナ禍で多くのイベント中止

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、今年の「ひなぐ雛祭り」は、多くのイベントが中止されることになりました。

◆竹灯り
日時 3月2日(火)、3日(水)
18:00~21:00
場所 いこいの広場

◆スタンプリ
日時 2月13日(土)
場所 温泉旅館等

◆雛飾り展示
日時 2月13日(土)
場所 おりや、温泉旅館(八代屋を含む)等

◆くまモンへの飾り付け
日時 2月13日(土)
場所 おりや、温泉旅館(八代屋を含む)等



くまモンの飾り付けの準備

◆3月7日(日)
場所 温泉街一帯のくまモン(何見つけられるでしょうか)
「『やつしろ』のお雛祭り」関連で、「フォトコンテスト」と「やつ雛俳句作品募集」が、開催されます。詳しくは、日奈久ゆめ倉庫や日奈久コミセンにあるパンフレットを参照ください。華やかなイベントが中止となり寂しいですが、日奈久を訪れる方々を心からおもてなしをしたいものです。

県コロナウイルス感染「緊急事態宣言」発令 新型コロナウイルスの3つの顔を知り、 負のスパイラルを断ち切りましょう！



新型コロナウイルス新規感染者数の急増で、熊本県内は国の警戒レベルでも深刻な「ステージ4」(爆発的感染拡大)に入ったと言われています。世界規模で感染拡大している新型コロナウイルスですが、医療機関が逼迫しており、終息に向けて一人ひとりが感染予防対策の徹底に努めることが大切です。

新型コロナウイルス新規感染者数の急増で、熊本県内は国の警戒レベルでも深刻な「ステージ4」(爆発的感染拡大)に入ったと言われています。世界規模で感染拡大している新型コロナウイルスですが、医療機関が逼迫しており、終息に向けて一人ひとりが感染予防対策の徹底に努めることが大切です。

令和3年2月号 (第138号) 発行者 日奈久住民自治会

日奈久の人口 (12月末現在)	
男	1153人
女	1398人
計	2551人
(前月比-9人)	
(2009年末3444人)	

「ありがとう」が 行き交うまち 日奈久 身近な人に「ありがとう」 贈る日奈久に「ありがとう」 訪れる人に「ありがとう」

「ゴリけん」さん 八代よかとこ大使就任



八代市の観光発信や物産品のPRを行う【八代よかとこ大使】に「ゴリけん」さん(本名町田健一さん、上西町出身)が就任しました。八代亜紀さん、陣内貴美子さん、松中信彦さんに続く4人目です。

新型コロナウイルス新規感染者数の急増で、熊本県内は国の警戒レベルでも深刻な「ステージ4」(爆発的感染拡大)に入ったと言われています。世界規模で感染拡大している新型コロナウイルスですが、医療機関が逼迫しており、終息に向けて一人ひとりが感染予防対策の徹底に努めることが大切です。

今、コロナ禍で世の中はそんな状況が続いています。そんな中、天草の神様アマヒエがコロナから守ってくれようと大変な人気が、おがまち日奈久にも、伝染病から私たちを守ってくださるお釈迦様が祀ってあります。

2月の行事から

11日(木)	建国記念の日
23日(火)	天皇誕生日
- 住民自治会関係会議等 -	
12日(金)	市政協力員例会
15日(月)	運営委員会
17日(水)	広報部会

日奈久の皆様へ 終戦期のハガキや新刊書籍

横濱市在住の久山喜昭様から、終戦直後の郵便「ハガキ」(現在の半分大)と「戦争と郵便」(新刊書籍)をいただきました。日奈久郵便局に展示しています。

久山様からはこれまで日奈久へ数々のお見舞いや寄付をいただきました。津森小遭難の碑公園の清掃活動への謝意や熊本震災のお見舞いなどの広告や寄付、コロナ禍で休校が続いた日奈久小児童への見舞い寄付金、その他にも、下の写真のように「山頭火の世界」、昭和15年の宝塚パンフレット、明治天皇結婚記念郵



久山様からの寄付物品の一部

馬越町吉田敏様より御尊父頁様の香典返しとして日奈久住民自治会に寄付をいただきました。ありがとうございました。

◆「ふれあい祭」(住民自治会)
◆「フロの日」(旅館組合)
◆「2月6日 無料開放」(旅館組合)

住民自治会運営委から
1月15日(金)開催の運営委員会から、記事として扱っていない主な事項についてお伝えします。

2つ) 流行病を鎮めるために建立されたといわれています。この数年前から世界的にスペイン風邪が大流行(パンデミック)。日本国内で38万人が死亡したそうです。

馬越村に大塚馬越という五人力の弓を引くという強弓の射手がいることを聞き、海岸からどこまで飛ばせるのか見たいということで、大塚馬越は愛馬に乗って浜辺に進みました。浜辺にはたくさんの方が押しかけました。馬越は愛用の強弓を満月のように引き絞り、天草まで届けとばかり放ちますと、矢は三丁(約320m)ほどの海中に落ちました。

馬越の地名は、この大塚馬越の名をとってつけられたとされています。地名の由来には諸説あります。※本文は、中原文敬著「日奈久の歴史」を参考にしました。また、情報を頂いたのは光本照夫さん(山下町)です。ありがとうございました。

「お世話になりました。元気に頑張っています」 八童小学校と坂本中学校の校長先生からのお便り

12月11日まで日奈久小・中学校の校舎を活用し、14日から地元坂本町の校舎に戻った八童小と坂本中の校長先生から、お礼のお便りが届きました。

八代市立八童小学校
校長 渡辺 泰生
坂本での学校再開「みんな元気です！」

12月14日(月)、坂本にある八童小学校に、約5ヶ月ぶりに子供達の元気な声が戻ってきました。朝8時過ぎ、6台のスクーターから、嬉しさいっぱいの笑顔でみんなが降りてきました。その後は、各教室で担任の先生とのお話の後、掃除や片付けから再開しました。やる気満々の姿がたくさん見られました。



全校児童元気です

学校PTA会長でもある山下さんには、5・6年生が「イチゴの苗植え」でもお世話になっており、本当に感謝です。

8月3日から12月11日まで、日奈久小学校の子供達や先生方、そして地域の皆様には本当にお世話になりました。坂本に戻ることができ、あらためて感謝の心が沸いています。これから一歩一歩、復興・復旧に向けて、坂本が一つになって進むためにも、八童小の子供達や先生方と共に、笑顔で頑張りたいと思います。

お陰をもちまして、不安な毎日を送っていた生徒たちも希望を見出し、学習成果発表会を開催することもできました。生徒たちは「日奈久中の思い出は、これからの人生の宝物です」「落ち込んでいた気持ちが明るくなりました」「一緒に過ごした日々を忘れませんでした。」

励ましのメッセージ、温かい声掛け、共に汗を流した合同授業、文化祭見学、一緒に遊んだ昼休み、そして日奈久中の皆さんのやさしさや笑顔は、本校生徒たちの心に深く染み込んでいます。また、種田山頭火ゆかりの地を訪ねたフィールドワークやちくわづくり体験、いちご栽培など、地域の方々にも本当によろしくいただき、たくさんすばらしい思い出をいただきました。



笑顔いっぱいの坂本中生徒

新しい年の コロナ禍の終息を 灯りに込めて

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、毎年大晦日の「火流の彩」は、中止となりました。それでも初詣に来られる皆さんのために火文字を点灯しようとして、小林宮司と有志の皆さんで、準備・点灯をされました。

そこには、「コロナ退散」の文字と疫病を防ぐと言われる「アマレヒエ」の姿がありました。



綺麗に浮かび上がった火文字

翌日、12月15日(火)には、「JAやつしろ昭和いちご部会」の山下さん(大坪町)が子供達に「イチゴ(ゆうべに)」のプレゼントを届けてくださいました。日奈久中



八代市立坂本中学校
校長 園田 英雄
豪雨災害により道路が寸断され、坂本中学校で授業を行うことができない中に、日奈久中の中村恭介校長先生から「うちに来んですか、生徒たちも喜びます」と声を掛けていただいたことが、昨日

お陰をもちまして、不安な毎日を送っていた生徒たちも希望を見出し、学習成果発表会を開催することもできました。生徒たちは「日奈久中の思い出は、これからの人生の宝物です」「落ち込んでいた気持ちが明るくなりました」「一緒に過ごした日々を忘れませんでした。」

お陰をもちまして、不安な毎日を送っていた生徒たちも希望を見出し、学習成果発表会を開催することもできました。生徒たちは「日奈久中の思い出は、これからの人生の宝物です」「落ち込んでいた気持ちが明るくなりました」「一緒に過ごした日々を忘れませんでした。」

お陰をもちまして、不安な毎日を送っていた生徒たちも希望を見出し、学習成果発表会を開催することもできました。生徒たちは「日奈久中の思い出は、これからの人生の宝物です」「落ち込んでいた気持ちが明るくなりました」「一緒に過ごした日々を忘れませんでした。」

懐かしさと喜びと 日奈久小学校平成24年度卒業生 タイムカプセルを掘り出しました！



皆で力を合わせて掘り始めました

1月2日午後1時、日奈久小学校中庭に次々と集まってきたのは、平成24年度卒業生17名(21名中)と、当時の担任だった一門翔先生と松ヶ山忍先生と保護者数名。20歳になったときに開ける約束だったタイムカプセルを掘りに集まりました。

「久しぶり！」「いっちゃん変わらんね」とあちこちで声が上がりました。実行委員の広瀬理奈さんと東和愛(のあ)さん、山本黎音(れのん)さんの3人の挨拶後、早速掘り始めました。が、思うように進みませんでした。



自分が締めたねじを順番に開ける

最後に、実行委員を代表して、広瀬さんが、「皆さん、今日は集まってくださってありがとうございます。2021」の文字が書いてありました。自分が入れた物を各自もらって懐かしそうでした。

タイムカプセルの見え始めると、力が入り最後は、この原理を使い引き上げました。

タイムカプセルの蓋を開けてびっくり。一つ一つ開けて、そこに「成人おめでとうございます。皆変わらなく



掘り出した思い出の品に笑顔

日奈久にいた頃が幸せだったなと思います。コロナが収まったら、酒を一緒に飲みましょう」と言葉がありました。松ヶ山先生からは、お祝いの言葉と、声を聞く懐かしさで、すぐに分かれました。これからも仲間を大切にしたいです」との言葉がありました。

皆さんの明るい声と笑顔から、素晴らしい学級だったことがよく分かり、新年から温かい気持ちになりました。

読者の広場

映画の思い出

「キューポラのある町」

東京都 石元 種雄

(雑誌の編集者)
晩白柚風呂や「火流の彩」の記事を見ると、12月も押し迫ったといつも感じてしまいます。コロナ禍、震災とで熊本の被害も心痛します。

そんな中「八代映画文化の先駆け」の初代会長の長尾幸弘さんの名前を見つけてびっくり、中学の時の担任でした。

曙映画館の記憶ももうすらすらとでありますが、映画だけでなく舞台もやっていたと思います。回り舞台があったのを覚えていますから。

また、引率されて、ここで吉永小百合主演の「キューポラのある町」を観たと思います。この映画は1962年昭和37年の作品なので、中学の時連れられて観ていたのだと

思い出

長尾先生に卒業時書いていただいた詩(55年前のもの)もひょっこり出てきたので、添付いたしました。

修学旅行に行くお金が無く、その代わりに悪友に連れられスナックで騒いでいるうちに、チンピラに飲み物に目薬入れられて眠らされ、強姦されそうになるシーンなどショックなものでした。また、吉永の弟の同級生が牛乳配達しているその牛乳を弟が盗んで飲み、ケンカ、仲たがいが。その友達が北朝鮮に帰国する別れの列車のシーンも、鮮烈に焼き付いています。浦山監督の傑作・名作ですね。

半世紀以上前の作品での鑑賞体験ですが、70になった私が現在も年間100本以上今年はコロナで引きこもり状態で200本以上鑑賞。映画を見続けている映画バカになったのも、これらの影響(原点)に近い体験。大、あったらばこそだと今更のよっと思えます。

娘も私の影響(おそらくで映画監督になっています。暗い夜空の星をみつめたとえ大地は冷たくてもその冷たさに負けるなやがて お前も大きくなり輝く太陽の美しさと 柔らかいそよ風が お前の頬をそっとなでる日も近いのだ さびしからうが お前の道をしっかりと歩くん

(広告欄)